## 家庭用 かんぎょうパンフレット

第19号

## 乾電池 どんなふうに捨てていますか

当社では、年に二回 美化活動を実施しています。 今年も、5月に第一回目を行いました。回収したごみに 乾電池がよく混じっています。

単品もありますが、家電品に装着されて捨てられていて、乾電池が腐食した状態になっています。 これは、大変有害で、環境に影響があると同時に、人体にも悪影響があります。素手で触ると、人によっては皮膚炎をおこし、重篤になる場合もあります。



家電品を保管、廃棄するときは、乾電池がないか 確かめ、取り除いてから処分してください。廃棄の方法は 住んでいる**自治体により捨て方が違います**ので、自治体の指示に従がってください。 間違っても、紙に包んでポイは、止めてください。

当社では、乾電池は専用の箱を設け、すべて 回収しています。乾電池を廃棄するときに 気を付けなければならないことは、使いきった 乾電池か、捨てられる乾電池かの判断です。

乾電池の種類や電圧によって、電池同士が ショートし、発火発熱事故をおこします。 当社では、廃棄する乾電池を一つ一つ調べ 確認した後、処分しています。

確認した後、処分しています。
もし、ご家庭で不要な乾電池があり、処分できず迷っているか、処分方法がわからないものは、会社に持ち込んでください。 当社で、廃棄します。
※ボタン電池は含みますが、バッテリーなどは対象外です





8月10日(金) 一回目の回収を行います。本社タイムカード室に専用の箱を 設置しておきます。 乾電池は放置すると有害です。 正しく処分しましょう。

家庭用パンフレット第19号 青柳工業株式会社 環境会議 2018年8月3日